

ぶどうの樹

2017.12

NO. 21



写真：長崎市泉町・かつての長崎外国語短期大学 全景（1982年頃）

INDEX

特集1: 懐かしの外大～卒業生インタビュー～

特集2: 外大のいま～航空業就職サポート～

特集3: 石川昭仁学長が語る外大の未来～2020に向けて～

6 チャペル通信

7 第67回外語祭スナップ

8 ヒューマンライブラリープロジェクト

9 高大連携の取り組み

10 同窓会だより／保護者会だより

11 寄付事業のお礼と報告

懐かしの外大

～卒業生インタビュー～

本学は、1945年の創立から今年で72年を迎えました。これまでの卒業生は、長崎外国語短期大学11,022人・長崎外国語大学2,061人と、合計で13,000人を越えます。卒業生のみなさんは、長崎はもちろんのこと、日本各地や海外で活躍をされています。

そこで今号の特集では『懐かしの外大』と題し、その中から3名の方にインタビューをおこない、近況をお尋ねするとともに、短期大学・大学での思い出をお聞きしました。外国語習得のために努力を重ねた日々、外国人との触れ合いを通じて得られた新たな考え方や人との絆…。学生時代の経験やご縁が、様々なところでその後の人生に活かされていることがうかがえました。



つかもと あやこ
塚本 彩子さん

(2007年度卒・中国語専攻)
(独立行政法人国際交流基金 日中交流センター勤務)

Q 現在はどのようなお仕事をされていますか？

日本と中国の将来を担う青少年たちを対象に、青少年交流事業を展開しています。

また、中国の地方都市にある大学等において、対日理解と交流を促進する「ふれあいの場」を開設しています。その「ふれあいの場」に日本の大学生を派遣する「大学生交流事業」も行っています。

Q 在学中の一番の思い出は何ですか？

元アナウンサーで北京出身の池玉傑先生には大変お世話になりました。

スピーチ大会の前になると、マンツーマンで細かく丁寧に指導してくださいました。その甲斐もあり、4年生で「漢語橋」世界大学生中国語コンテストの日本代表に選ばれたのは良い思い出です。この大会で知り合った各国の代表とは今でもFacebookで繋がっています。

また、小さくてアットホームな学校でしたので、友人もすぐにでき、よく留学生を家に招いてホームパーティをしていました。我が家に遊びに来てくれた中国の留学生が「初めてタタミを見た！」と感動し、とても驚いていたことを覚えています。

Q 「小さくてアットホームな」本学ですが、これも「外大の魅力」と言えますね。

はい！学生と教師の間の距離が近く、学生の面倒をこん

なにしてくれる大学は他になかなかないと思います。就職活動のときはキャリアセンターの職員さんがすごく親身になって相談に乗ってくれたので、大変心強かったです。

Q そんな外大での日々の学びは、今のご自身にどのように役立っていますか？

大学卒業後、マスコミ業界、上海万博日本館、在上海の商工会議所等で勤めてきましたが、すべて中国語を生かせる職場でした。中国語を学んでいたからこそ今の仕事につながっているのだと思います。

今は学生時代にぼんやりと夢に描いていた「青少年交流事業」に携わっており、毎日充実した生活を送っています。

また、偶然にも現在の仕事で関わっているパートナーが、かつて長崎外国語大学に吉林大学から留学していた留学生で、これも何かの「ご縁」なのだろうと思います。

Q 最後に在學生にメッセージをお願いします。

学生時代には時間がたくさんありますが、その時間をどう使うかは皆さん次第です。失敗を恐れずに、どんどん新しいことに挑戦してみてください。そして友達を沢山つくってください。外大には様々な国から来た留学生と知り合いになれる恵まれた環境が整っています。彼らと話しながらお互いの文化を理解してみると、新しい発見があるかもしれません。





あなたに
尾谷 いずみさん
(1988年度短大卒・英語専攻)
(TKUテレビ熊本 アナウンサー)

Q 現在はどのようなお仕事をされていますか？

夕方に生放送しているニュース番組『TKUみんなのニュース』のキャスターを務めています。番組の生放送以外の時間は記者活動をしていて、ニュース取材や番組制作に携わっています。

Q 在学中の思い出深いエピソードがありましたら教えてください。

授業のあと、住吉アーケードを友達とウロウロしたり、近くには野菜をざるに入れて売っていたりする市場があり（今もあったらいいな）、少しでもお得で安いものを選んで買い、自炊していました。

Q 外大（外短）の魅力は何だと思いますか？

私は短大で教職課程を履修していたので、朝から夕方まで授業が詰まっている日が多くて、とにかく忙しかった記憶があります。そんな中でも先生方は、私たち学生の質問にどんな時も丁寧に答えてくださいました。出身中学校での教育実習で生徒たちが目を輝かせて私の授業を受けてくれた時には感動し、実習最終日は涙、涙でした。

Q 外大（外短）での学びは、現在どのように役立っていると思いますか？

当時、「宗教」の授業を受講していたのですが、テストは確か質問が2問ほどしかない記述式でした。私は宗教のことは正直よく分かっていませんでしたが、ひたすら自分の考えを答案用紙いっぱいびっしりと書きました。すると返ってきた答案には大きな〇がついていて、なんと100点。「こんな私でも認めてもらえた、自分は自分でいいんだ」という喜びのような気持ちが沸き、それは今の人生にも生きている気がします。

Q 最後に、現在外大で学ぶ学生へのメッセージをお願いします。

好きなことに精一杯とりこんでください。それが絶対に次につながります。



にいくら ともひこ
新生 智彦さん
(2007年度卒・英語専攻)
(VITO JAPAN株式会社 海外事業部マネージャー)

Q 現在はどのようなお仕事をされていますか？

ジェラート製造、及び日本27店舗・世界9店舗でジェラテリアカフェを展開する「VITO」で、店舗展開・海外事業開発の仕事をしています。

Q 在学中の一番の思い出は何ですか？

アメリカ人4人とイギリス人1人と私で「シェアハウス」をしたことです。みんなで映画を観たり、週末に料理を作ってパーティーをしたり、まるで海外ドラマのような生活でした。日本にいながら毎日英語に触れることができた環境が、今に繋がっています。

Q 外大での学びがきちんと現在に役立っていますね。

そうですね。外国人と日常的に接すること、他国の言語・文化への関心が高い友人たちと一緒に学ぶことで、多種多様な価値観の人々との共存の仕方を体感的に学べますし、柔軟性も身につきます。また、留学生との交流の中で自国

の良さを改めて実感することで、世界で働くために必要なアイデンティティを再発見できました。

Q 外大の魅力は何だと思いますか？

何よりも「外国語を学ぶ環境が整っているところ」です。学んだ言語を外国人留学生との交流の中で実践して身につけることができますし、留学制度も充実しています。また、キャリア支援の対応がきめ細やかなところも魅力ですね。

Q 最後に在學生にメッセージをお願いします。

いま学んでいる外国語を、あなたのやりたいことに繋げる環境は整っています！一歩を踏み出し、様々なことにチャレンジしてください。

大事なそれはそれを「楽しむ」こと。たくさん遊んで下さい。そして「遊び」を「学び」に変えていってください。Be Happy. Be Smile.



外大のいま

～航空業就職サポート～

近年、外国語の運用能力やコミュニケーション力、高いホスピタリティを活かした進路として、エアライン業界が本学学生の注目を集めています。

キャリアセンターでは、学生が研鑽を重ねて修得した持ち味を生かせる進路のひとつとして、短大の頃よりエアライン業界への進路支援に注力してきました。今後、さらに学生の要望に応じた支援の強化も考えていますが、現在の他大学・専門学校と比べても決して遜色のないサポート内容に関してその一部をご紹介します。



●英語（中国語・韓国語・ドイツ語・フランス語・日本語）をしっかりと学べる

- ①外国語大学の語学教育の専門カリキュラムが、英語は言うまでもなく他の外国語の修得においても、エアライン業界への就職に際して大きなアドバンテージとなって学生を力強くサポートしている

●ANA福岡空港やスターフライヤーと連携を結んでいる

- ①空港研修やエアラインセミナーに他学よりも好条件で参加できる
- ②エアライン志望者に対し、エアライン各社の特別面談会を学内で開催している

●エアラインに特化した学習環境も設置している

- ①学内にエアライン専属コンサルタントを擁し、各年次における段階的・効果的プログラムを策定している
- ②エアライン・ホテル英語や元航空会社の教育担当実務家教員が行う実践的エアライン関連授業を開講している

●就職希望者の2割がエアライン関連企業に内定を得ている

- ①エアライン登録会（100名程が参加）でエアライン志望登録をした学生は、個別情報の提供を受け、エントリーシートの研究や面接練習においても本人が納得するまで何度でも支援・指導を受けることができる
- ②進路先としてエアラインを志望する「同志」が周囲に多く、情報交換が容易であり、同じ夢を目指して切磋琢磨し相談にも応じてくれる友人がでやすい。そのため、高いモチベーションを保持しやすい

上記のエアラインサポートに関する本学の優れた環境や支援体制を他大学やエアライン関連の専門学校と比較してみると以下ようになります。

本学の環境・支援体制の他大学等との比較

	本学	他大学	専門学校
エアラインを目指す「同志」が周囲に多い(100人を超える学生が関心有り)	◎	△	◎
エアライン関連企業と連携し学生の教育に携わっている	◎	△or○	◎
語学力(英語他)を十分に鍛えることが出来る環境(留学・国際寮・多文化キャンパス)	◎	◎or○	△
エアラインを進路先として意識した講義の設置	◎	△or○	◎
コミュニケーション力・人間力・一般常識力を鍛えるカリキュラム	◎	○	△
エアライン志望者に個別対応で支援・指導できる体制	◎	△	◎
エアライン専属のコンサルタントを擁している(効果的企画力・情報提供力)	◎	△	◎
エントリーシートや面接のトレーニングが納得のいくまで何度でもできる	◎	△or○	○or◎

今後も、さらに本学のエアライン志望学生の期待に応えるキャリア支援の充実に力を入れて参ります。



石川昭仁学長が語る 外大の未来 ～ 2020に向けて～

9月26日の長崎学院第358回理事会にて、現職の石川昭仁学長の3選が決定された。新たな任期は2018年度からの3年間。2020年の東京オリンピック・パラリンピックを控え、中長期計画「長崎外大ビジョン21(2014-2020)」の完遂を見据える石川学長に、本学の今後のビジョンを語ってもらった。

“地に足を付けた” 世界的視野を

3期目に向けての目下の最優先課題は「長崎外大ビジョン21」の改訂だ。時代の流れと共に移行行く高等教育の課題に対応するため、更に社会のニーズに即した内容に変更しようと考えている。

教育のコンセプトはあくまで「グローバル人材の育成」だが、これには若干の補足説明が必要だ。“グローバル”という語には、「世界を股にかけて飛び回る」というイメージがあるが、いかにグローバルな人といえども、それぞれの地域（ローカル）に根差して活動を展開しているのであり、例えば本学に海外から来た留学生たちにとっては、長崎も“グローバル”に生きる場となる。学生には大学で培った世界的な視野を活かしながら、各人が拠点とする地域に必要なグローバル人材になってもらいたい。

“語学力+α” の効果

グローバル人材育成の柱となるのは留学。本学は全学生の3分の2が半年以上の留学を経験する。現地での日々の授業やホームステイ、クラブ活動など様々な経験を通じて、もちろん語学力の向上は期待できる。しかし留学の効果はそれだけではない。異なる文化に飛び込み、慣れない環境の中で他者と協働し、ともに課題解決を目指していくことにより、コミュニケーション力、コラボレーション力、問題解決能力などが養われる。留学を経験した学生たちがこれらの能力を大きく伸ばしたことが、本学の行なった調査でデータとして証明されており、今後はこういった学びの効果が大きい体験型の“High Impact Practice”を通じて学生の潜在能力を引き出し、教育のひとつの核に据えていく。

『メダカの学校』 型教育へ

学生の潜在能力を引き出すためのもう一つの仕掛けは、教育のパラダイムシフトを推進していくこと。偏差

値で輪切りにされた均質な学生たちが一つの大学に集う時代はとうに過ぎた。入学してくる学生の多様化に対応するためには、一方的に知識を教授する伝統的教育観からの脱却を更に加速させる必要がある。

たとえるならば、従来型の教育は、童謡『雀の学校』のようなもの。「先生は 鞭を振り振りチイパッパ 生徒の雀は輪になって…」とあるように、教師は教壇に立って、時には鞭を振りかざし、一方的に知識を注入していればそれでよかった。一方で、変化の激しい時代において、今後求められる教育の在り方は『めだかの学校』。2番の歌詞に「だれが生徒か先生か みんなで元気に遊んでる…」という一節があり、そこには、知識を授ける者としてではなく、自ら学生の輪に飛び込んで学生の知識発見のためのきっかけを提供する存在としての教師像が描かれている。このように、学生の内在的な気付きを促進していくための「学びの設計者」としての姿勢を持ち、学生の学びの質を向上させることのできる教員が、今後の大学教員の理想像となっていこう。

『長崎学』の新地平へ

研究について。昨年度あらたに設置した新長崎学研究中心を中心として、特に社会と密接に連携した研究活動を展開したい。

従来の「長崎学」は、どうしても幕末以降の歴史・文化研究に限定されたイメージが付きまとっていた。そこで同センターが提唱する「新長崎学」においては、それらを更に発展させ、現在の長崎が抱える社会的な課題に真正面から向き合い、人文・経済・文化等を横断的に連結させた学際的な視点から、未来志向的な地域密着型研究を推進することを目指している。本学の全ての教員をセンターの研究員とするほか、外部の人材も客員研究員として委嘱しており、既に何度か開催されている定期的な研究会などを今後も開催することで、研究と地域貢献という、大学の社会的責任を果たす機能の一翼を担ってもらいたい。

私の被爆体験と神の恵み

長崎バプテスト教会員 山口 カズ子

イエスは言われた。「わたしは道であり、真理であり、命である。
わたしを通らなければ、だれも父のもとに行くことができない。」
ヨハネによる福音書 14章 6節



私は1945年当時17歳。勤労働員で三菱兵器製作所（現・長崎大学文教キャンパス）で航空機魚雷の製造に従事しているときに原子爆弾に遭いました。8月9日は朝からいつものように机に向かって仕事をしていましたが、一瞬ぴかっと白い光が目の前を走ったかと思った瞬間、そのまま気を失ってしまいました。気が付いたときは真っ暗で、瓦礫の下敷きになっていました。無我夢中でそこから這い出すと、そこは地獄のような有様で、髪が逆立ち、衣服が裂け、ひどい怪我を負った人たちが逃げ惑っていました。私も呆然としたまま、とにかくその場から逃げました。

その後、諫早市の小学校の避難所に収容されましたが、広い講堂は負傷者で埋め尽くされ、満足な手当ても受けられず多くの方が亡くなりました。私も両手と顔に火傷を負い、その傷が化膿して蛆虫が湧いてきて、周りの人からはとても助からないだろうと思われていました。松山町の爆心地のすぐ近くにあった家は焼け、家族も全て亡くなりました。「戦争さえしなければ、皆死なないで済んだのに」と、心の底からそう思いました。

その後私は何とか回復し、家族の中で一人生き残ることとなりました。そんな私を神様は憐れまれたのか、様々な助けの手を差し伸べてくださり、就職、結婚を経て、信仰に出会い、教会の礼拝にも出るようになりました。そしてある日の礼拝で、「私は道であり、真理であり、命である」というお言葉を聴きました。その言葉は何故かいつも私の心から離れませんでした。しかし、安定した生活を得て日々を気楽に過ごしていた当時の私は、神様への罪深さにも、多くの人に迷惑をかけていることにも思いを致さずに過ごしていました。

そんな私に、神様は一番大切なことを教えてくださいました。ある日、長崎駅近くを走っていた私の車が、大通りの真ん中で突然止まってしまったのです。押しても引いても車は動いてくれず、途方にくれた私は、思わず「この車を作ってくれた人がこの場にいてくれれば良いのに」とつぶやきました。するとそのとき、頭上からの「私はあなたを作った」というお声を聞きました。

そして、夢見心地の私に、「私は道であり、真理であり、命である」というあの言葉が心の中によみがえってきたのです。この言葉は私が「自分の生きていくべき道はこれを置いて他にないのだ」と強く思い至るきっかけとなりました。不思議な一瞬の出来事。その後どうやって車を動かしたのかも覚えていません。しかし、「私を作った」という神様のお声は、私の信仰の原点となりました。

被爆からの72年間を省みると、神様からの一方的な愛と憐れみと導きの毎日でした。神様はいつも私たち一人ひとりに「私があなたを作った、私のもとに来なさい、愛している」と語りかけていらっしゃいます。この声に気づき、お応えできる者になりたい。神様の御心に沿った日々を過ごせたらと、いつも祈っております。

（7月19日 チャペルアワーから。要約：編集委員 一宮 啓祥）

1945年12月に創立された長崎学院の歩みは、平和を願う戦後の長崎とともにありました。戦後70年を経て被爆者も少なくなる中、本学では創立70周年を機に、原爆記念日に近いチャペルアワーで被爆体験を伺おうという機運が盛り上がり、昨年に続き今年もそれを実現することができました。山口カズ子さんは1927年に長崎市で生まれ、お話にもあるように、原爆で家も母と二人の妹も失い、大変なご苦勞のうちに戦後を生きてこられ、その中で神さまと出会われました。そのような山口さんから伺った講話の聖句は、奇しくも本学のスクールモットーと同じ、ヨハネによる福音書14章6節。今年、学院は72回目の創立記念日を迎えましたが、学生の皆さんには、本学の建学の精神とも重なる、被爆者の反戦・平和への願いを受け継いで欲しいと思います。

（学院宗教主任 小西 哲郎）



第67回外語祭

11月3日と4日の両日、第67回外語祭が盛大に行われました。
今年のテーマは“You only live once”
(人生は、一度きり。)
国際色豊かな料理の香りに包まれて、
あちこちで「一度きり」の笑顔が弾けました!

11.3 Fri-4 Sat
67
外語祭



九州初!! 「ヒューマンライブラリープロジェクト」インタビュー (2017.10.30)
2016年秋に始動し、プロジェクト科目として1年半となりますみやざき きのの
宮崎 聖乃先生
(担当教員)いまざと ゆ き
今里 有紀さん
(大学3年生「ヒューマン
ライブラリープロジェクト」
リーダー)

プロジェクト科目「ヒューマンライブラリー」を選んだ理由と得られていることは？

今里さん) 半年間の留学を終え、達成感と同時に、これからは自律してもっとしっかりしないといけない、留学した経験を無駄にしないで、もう一步踏み出して自信をつけたいと思ったことです。そこで昨年、プロジェクト科目の説明会に参加して、背中を押してくれたのが「ヒューマンライブラリープロジェクト」でした。

宮崎先生) 確かに留学したら、「留学した」というだけで終わらせたくないですね。

今里さん) いろんな人から「留学したらそこがピーク、帰国後、何もしなかったらドロップアウトだよ!」という話を聞いていて、卒業後も考えるとこのままでは終わらせたくないと思えます。

宮崎先生) 留学の目的って語学力を上げることだけではないし、今里さんの「留学経験を活かす」という動機でプロジェクト科目を履修するのって、すごく良いことだと思います。「ヒューマンライブラリープロジェクト」で今里さん自身のためになっていることはどんなこと？

今里さん) まだ「読者(聞き手)」になった事がなく、おそらく「読者」になれば得られるものもあると確信しています。それから社会的にマイノリティーといわれる人たちが積極的に話し、色々な人同士が交流している姿を見て、落ち込んでいる場合ではないなと感じさせられたり、その人たちの考え方を知ることによって、前向きになれる自信が持てるようになりました。また他人の意見を聞いていろんな見方があることを知り、まず相手に対して理解しようと思えるようになり、これまでの自分とは大きく変わったと思います。

今後の「ヒューマンライブラリー」の展開と課題について

宮崎先生) 11月11日、12日に「ながさき・愛の映画祭」とコラボしてヒューマンライブラリーを開催しますね。そこで幅広い年齢層、様々な立場の方々と協働していることについてどうですか。けっこう大変でしょう(笑)

今里さん) 勉強できることが沢山あると思います。社会に出る前に沢山の方々と関わり合いを持ち学んでいきたいです。また、「ヒューマンライブラリー」をみんなに分かりやすく説明するというのがずっと課題としてあります。私自身、「本物の本を持ち寄って話をするんだ」って思っていたので…。様々な経験をした方々が語り手「本」となって話をし、聞き手「読者」が理解し合うということをもっとシンプルに説明出来たらいいなと思っています。そこで広報の方法について今後も工夫していきたいです。

宮崎先生) 大学って学生のためだけのものではなく、地域のために果たす役割というものがあります。図書館などの施設や講座の開講だけではなく、「ヒューマンライブラリー」を大学生が主催するということも、長崎という地域社会に対しての貢献だと思います。これからも学生たちがそういった意識を持って実践していってくれば素晴らしいと思います。来年5月頃には外大ならではの「ヒューマンライブラリー」の開催を学外に向けて計画中です。本学の総務課にも次回開催についてのお問い合わせをいただいたりしているんですよ。

長崎県立壱岐高等学校と高大連携協定を締結いたしました

10月11日(水)に本学で行われた調印式には山口千樹校長が来学し、「九州には語学を専門に学べる大学が少ない。この協定に基づいたさまざまな交流を通して、生徒達が世界の多様性を知るきっかけにしてほしい」と述べ、石川昭仁学長は「壱岐高校は同じ長崎で、中国語をはじめとする国際教育や離島留学等にも力を注いでいる特色ある高校。共に掲げるグローバル人材の育成に積極的に協力する他、高大接続に向けたご意見などもいただいで、ますます良い関係を構築していきたい」と挨拶し、協定書への調印を行いました。

11月に壱岐高校で行われる日中友好交流ツアーへの本学留学生の派遣を皮切りに、出張講義やキャンパスを活用したイングリッシュキャンプ等、今後さまざまな高大連携事業を展開します。



2018年度春季入学試験日程

入試種別	出願期間	試験日	合格発表
スカラシップ入試		2月1日(木)	2月15日(木)
一般入試A日程	1月5日(金)～1月23日(火)	2月1日(木)～2月2日(金)	
特別入試A日程		2月2日(金)	
大学入試センター A日程	1月5日(金)～2月2日(金)		
一般入試B日程			3月10日(土)
特別入試B日程	2月8日(木)～2月28日(水)	3月7日(水)	
自己推薦A日程			
大学入試センター B日程	2月8日(木)～3月5日(月)		
自己推薦B日程		3月27日(火)	3月28日(水)
大学入試センター C日程	3月10日(土)～3月22日(木)		

● 同窓会だより ●

2018年度 第3回福岡・大分ブロック支部同窓会開催のお知らせ

日時：平成30年6月10日（日） 12:00～14:30

場所：福岡天神テルラ テルラホール4F

TEL.092-732-4441

〒810-0004 福岡市中央区渡辺通5-25-18 天神テルラビル

会費：5,000円

公私共にご多用中とは存じますが、お友達をお誘いの上是非ご出席いただきますようご案内申し上げます。

また、福岡・大分ブロック支部以外の方も大歓迎です。

参加申し込みは、**平成30年5月20日(日)迄**にご連絡ください。

●ハガキによる申し込みは：

〒811-3212

福岡県福津市福間南5-23-20 黒田由美子 宛

●メールでの申し込みは：富永加代子 宛

f.o.nagasaki.gaidai.dousoukai@gmail.com

件名は、「第3回6月10日同窓会」と記入ください。



2017年6月24日 福岡市博多区八幡にて、平野会長、出口同窓会事務局長をお迎えして、役員引継ぎを行いました。

● 保護者会だより ●

11/3～4の外語祭で保護者会より、「外大オリジナルTシャツ販売」で出店させていただきました。2日間ともお天気も良く、おかげさまでTシャツ334枚¥167,000を売り上げました。多くの保護者の皆様にご協力、ご支援いただき本当にありがとうございました。Tシャツデザインは学内で公募し、今年度デザイン賞1位は1年生の渡邊達也さんがオリジナルデザイン8点出品され受賞されました。自分のデザインした物がTシャツになるってうれしいですね♪これらのオリジナルTシャツは現在、売店で販売中です！また、高校生ポキャブラリーコンテストの参加賞や留学生のお土産などでこれから日本だけじゃなく世界へ飛び出していきますので、海外からのオファーも夢ではありませんよ！

～ 保護者会からのサポート支援のご紹介 ～

- ◎ 大学内のサークル24団体への活動支援
- ◎ 運動会の昼食、飲料の提供
- ◎ 外語祭を運営する学友会への協賛金
- ◎ 通訳ボランティアセミナー参加旅費
- ◎ 海外留学する学生の留学許可証授与式と壮行会
- ◎ 長崎外大スピーチコンテスト協賛金
- ◎ 各種コンテスト支援
- ◎ 到達目標達成奨励金の支給
- ◎ 大学が選任する勤労奨学生への助成
- ◎ 地区別懇談会支援費(長崎・福岡会場)
- ◎ 学院広報誌『ぶどうの樹』発刊支援
- ◎ 卒業生への記念品贈呈 など

“人生でいちばん良かったと思える学生生活を送ってほしい”と学友会さんに負けないくらいの熱いセッションが理事会でも行なわれています♪保護者会では新規サークルに対し、設立されたその年に活動資金を支援しています。今年度新設されたサークルはこちらの3組です♪

★ミュージカルサークル ★チアリーダーサークル ★Hiking club

外語祭でもステキなパフォーマンスを披露してくれていましたね♪来年も楽しみです!!ぜひ保護者のみなさん、来年の外語祭は外大Tシャツを着ていっしょに応援しましょう!!今しか見ることの出来ないキラキラ輝くすがたをぜひご覧ください♪♪

デザイン賞おめでとう
ございます♪
世界に羽ばたいて
ください☆



ありがとう♡
外語祭大成功でしたね♪
いつも笑顔とチーム力の
学友会さん



来年以降も
目はなせない!
☆長崎外大 ミュージカル
サークル☆



教育研究の整備に関わる寄付事業のお礼と報告

平成27年4月から開始いたしました「教育研究の整備に関わる寄付事業」は17,928,000円(平成28年11月1日～平成29年10月31日:151件、4,913,000円)のご寄付を賜り、ご支援をいただきました同窓会、保護者会、取引先、在学生保護者をはじめとした多くの皆さまに深く感謝申し上げます。

ご支援いただいた寄付は、平成29年度に実施しました大学校舎の教育環境整備の一環としてのバリアフリー関連工事の一部に充当させていただきました。

皆様の温かいご支援にお応えすべく、今後も教育環境の整備のために鋭意努力をして参る所存でございます。



【寄付金の状況(平成29年10月31日現在)】	
【収入の部】	寄付金総額 17,928,000円
	普通預金利息 177円
	合計 17,928,177円①
【支出の部】	ビデオ映像収録システムおよびeラーニング設備 7,477,646円
	校舎バリアフリー関連工事 4,570,000円 (総工事費29,970,000円の一部に充当)
	合計 12,047,646円②
【寄付金残高:①-②】	5,880,531円
内訳:	普通預金 3,770,531円
	日本私立学校振興・共済事業団保管分 2,110,000円

寄付者ご芳名一覧 平成28年11月～平成29年10月ご寄付分 たくさんの温かいご支援ありがとうございました

個人の部

青村 美津江	梅田 博	加納 貞彦	椎原 松子	田端 安範	西倉 雅宏	松下 進	森 義則	吉田 雄之進
安藤 伸吉	梅野 秀樹	川原 仁幸	柴田 政男	知名 清	西原 由美子	松田 明大	守屋 美代子	吉田 清一
池田 紘一	大戸 徹	北川 郁子	清水 馨	辻本 義典	服部 まゆみ	松本 千鶴子	山川 満潮	劉 軍
犬塚 一弘	大堀 哲	黒田 喜三男	高木 泰文	出口 すづ美	羽仁 秀幸	松本 汎人	山崎 大作	
今泉 勉	緒方 伸臣	桑原 孫市	竹内 猛	唐原 こずえ	春海 賢一	増留 愛香音	山根 直美	
岩永 弘	小川 守	小泉 みよし	田中 秀志	朝永 洋子	東 千絵	南 加代子	山本 敬明	
植木 啓子	小野 恭子	合原 奈穂子	田中 洋子	朝永 政明	深草 弘幸	宮崎 昭義	湯川 七郎	
上園 貴士	甲斐 一美	小道 隆	谷口 正宏	仲宗根 浩	舛田 悠子	森 彩	吉岡 学	
牛垣 昌子	片山 美千恵	佐藤 栄磨	谷口 美喜子	中村 弘美	松隈 浩志	森 隆子	吉岡 みどり	

法人の部

アダチ産業株式会社	九州印刷株式会社	ガスキンレントオール長崎ステーション	ニュー長崎ビルディング株式会社(体レニュー-願)	株式会社森美工務店
株式会社アド長崎新聞	株式会社クリーン・マット	DEITz 株式会社	林兼石油株式会社 長崎支店	株式会社ライセンスアカデミー
株式会社一広	株式会社サブネット	長崎外国語大学ビジネス株式会社	富士ビル総合株式会社	変重アソシエーツ&プロパティーズ株式会社
株式会社稲崎産業	ザ・ホテル長崎BWプレミアコレクション	長崎自動車株式会社	星野管工設備株式会社	
扇精光ソリューションズ株式会社	株式会社松栄設備	株式会社長崎消毒社	株式会社ほんだコーポレーション	
オフィスメーション株式会社	株式会社セキュリティハウスセント	株式会社西九州エレベーターサービス	株式会社松田久花園	

新長崎学研究に関わる寄付事業のお礼と報告

平成28年4月から開始いたしました「教育研究の整備に関わる寄付事業」は3,549,000円(平成28年11月1日～平成29年10月31日:17件、3,395,000円)のご寄付を賜り、ご支援をいただきました多くの皆さまに深く感謝申し上げます。

長崎で育まれてきた国際理解や平和などに関する見識を学問的に位置付け、国際協力活動への参画に役立つグローバル人材の育成実現を目的とした「新長崎学研究センター(平成28年4月1日設置)」において、平成28年度は幕末に長崎に初上陸し、以後10年間若いサムライ志士を国際教養で鍛え、後に近代国家「明治」日本の養父と讃えられたG.F.フルベッキ博士について取り上げて研究を進めて参りました。この研究成果は、平成29年12月1日の創立記念日に当センターの共同研究集會にて報告することにしております。

また、長崎ブランドについての研究事業申請も行ない、今後の研究展開に関しての研究を進めて参ります。今後ともグローバル人材の育成という本事業の趣旨にご理解とご協力をお願い申し上げます。

【寄付金の状況(平成29年10月31日現在)】	
【収入の部】	寄付金総額 3,549,000円
	普通預金利息 5円
	合計 3,549,005円①
【支出の部】	調査・研究費 96,985円②
【寄付金残高:①-②】	3,452,020円
内訳:	普通預金 1,852,020円
	日本私立学校振興・共済事業団保管分 1,600,000円

寄付者ご芳名一覧 平成28年11月～平成29年10月ご寄付分 たくさんの温かいご支援ありがとうございました

個人の部

足立 文彦	大西 晴樹	末光 進	伊達木 百合子	平野 大壽	六倉 英二
栗屋 曠	小松 弥生	瀧本 裕	辻本 義典	溝田 勉	吉田 親生

法人の部

株式会社メモリード	九州教員株式会社
一般社団法人夢未来ホールディングス	

寄付に係る税金(所得税・住民税)の優遇制度について

寄付をされると次の要領で税金が戻ってきます。詳しくは、法人事務局財務課までお問い合わせください。

個人 寄付金が2千円を超える場合は、超えた金額に40%を乗じた金額が税額控除されます。【(注)寄付金額は年間総所得金額の40%、税額控除は所得税額の25%がそれぞれ限度額となります。】

地方自治体が条例指定している場合は、住民税についても寄付金控除が適用されます。

※各自治体の条例指定の有無につきましては、各自治体によって異なりますので、ホームページ等でご確認ください。直接自治体へお問い合わせください。

法人 受配者指定寄付金によって、日本私立学校振興・共済事業団を通じて寄付していただきますと、法人税法上、その寄付金を全額損金へ算入できます。【事前の手続きが必要ですので、ご説明をいたしますので寄付の際は大学にお申し出ください。】

ご寄付のお申し込みについて

お電話またはメールで、ご住所、お名前をお知らせください。法人事務局よりご説明および必要書類をお送りいたします。

お問い合わせ先

学校法人長崎学院 長崎外国語大学 法人事務局 財務課(担当:北国)
Tel: 095-840-2003 (法人財務課直通) Email: keiri@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp



かつて本学がキャンパスを構えた長崎市泉町の跡地には「長崎外国語短期大学学舎跡」と刻まれた記念碑が立っています。現在は瀟洒なマンションが建ち、往時の面影は見出せませんが、近隣の住吉商店街の活気や電車通りの趣は当時と変わらぬままです。